

鵜川 平成15年8月 台風10号出水について

(第4報)

(数値は速報値を使用しているため、今後修正される場合があります。)

平成15年8月8日から10日にかけての気象概況

8日は寒冷前線が北海道を通過したため、鵜川沙流川水系では12～49ミリの雨が降った。その後雨は一旦止むが、9日は北海道の南海上に停滞した前線に向かって台風10号が接近したため、前線活動が活発化した事による雨と台風10号本体による雨が重なり、鵜川沙流川水系では132～326ミリの大雨が降った。

室蘭地方気象台は9日11時00分に胆振、日高地方に『大雨洪水警報』を発表した。

降り始めからの総雨量は鵜川水系では双珠別266ミリ、占冠252ミリ、ニニウ250ミリ、沙流川水系では仁世宇352ミリ、宿主別348ミリ、日高319ミリ、岩知志305ミリ。

今回の降雨の特徴は、前線と台風による雨のため降雨期間が長く、更に、台風10号が接近した9日14時から10日0時の間、鵜川水系では1時間に20～30ミリの強い雨が3時間位、沙流川水系では1時間に20～60ミリの雨が5時間位と強い雨が連続したことがあげられる。

(日本気象協会 平成15年8月14日)

